

## はごま 廻間開水路

写真手前のゲートは廻間水位調節堰で、堰上流の水位を自動的に一定にし、支線水路等への取り入れを常に可能にする堰で、一期事業では、アミルゲートを採用した。

二期事業では、下流の連白バイパストンネルへの分流工設置に伴い、廻間水位調節堰を上流に移設し、ウォッチマン型のゲートに改築した。(管理施設の項参照) また、この付近は一期事業後に開発された高蔵寺ニュータウン入口に位置し、ニュータウンへの水道取水施設が設置されている。

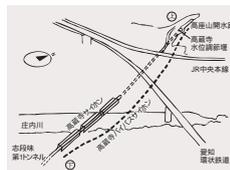


## こうぞうじ 高蔵寺サイホン

上流の高座山第2トンネルから短い開水路を経て、JR中央線と国道（現在はその後建設された愛知環状鉄道も通過している。）を潜り抜け、庄内川を水管橋でわたり、再び志段味第1トンネルに入る大規模なサイホンである。庄内川を横断する水管橋は40mの水圧に耐える構造となっている。

二期事業では、バイパスサイホンを併設させ庄内川の下を潜り抜けて、志段味バイパストンネルへと流下させ、本線施設を補強補修するなどの整備を施した。

写真後方は、山林原野であった地も現在は約5万人が居住する都市、高蔵寺ニュータウンとなった。



## 志段味開水路

愛知県森林公園に隣接した丘陵地にある志段味開水路は、アースライニングで施工された水路であったことから、自然環境に馴染んだ水路となり、貴重な動植物が棲息する環境が保たれていた。

二期事業では、自然環境と景観に配慮し、従前の姿を維持する工夫を施したうえで新たに二運水路として生まれ変わった（工事の記録参照）。



## 大久手開水路(旧旭浄水場付近)

緑におおわれた丘陵地の森林公園を通過した直後の開水路。当時は、春日井市、瀬戸市、守山区、尾張旭市一帯に水道用水を供給する旭浄水場が建設された。現在は、愛知県企業庁の北部水道事務所となっている。

二期事業では、下流の大久手トンネルのバイパス路線を、住宅密集地という条件から、大久手第1開水路で分流させ、水路の直下を通過する2階建て水路とした。また、下流部の高切土部分の安全を考慮し単断面で暗渠化した。

